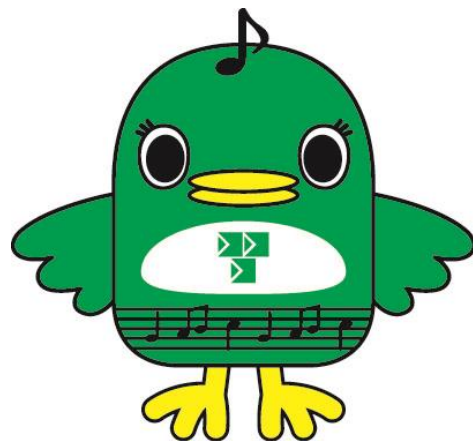


審議（1）

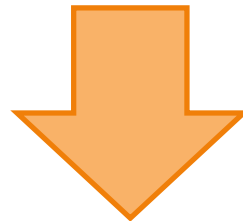
第3期国民健康保険 データヘルス計画 について



令和5年9月28日
協働経済部 国保年金課

○計画策定の背景・趣旨

- レセプト等の健康・医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業の実施を図る
- 幅広い年代に及ぶ被保険者の身体的な状況に応じた健康課題を捉え、課題に応じた保健事業を実施する



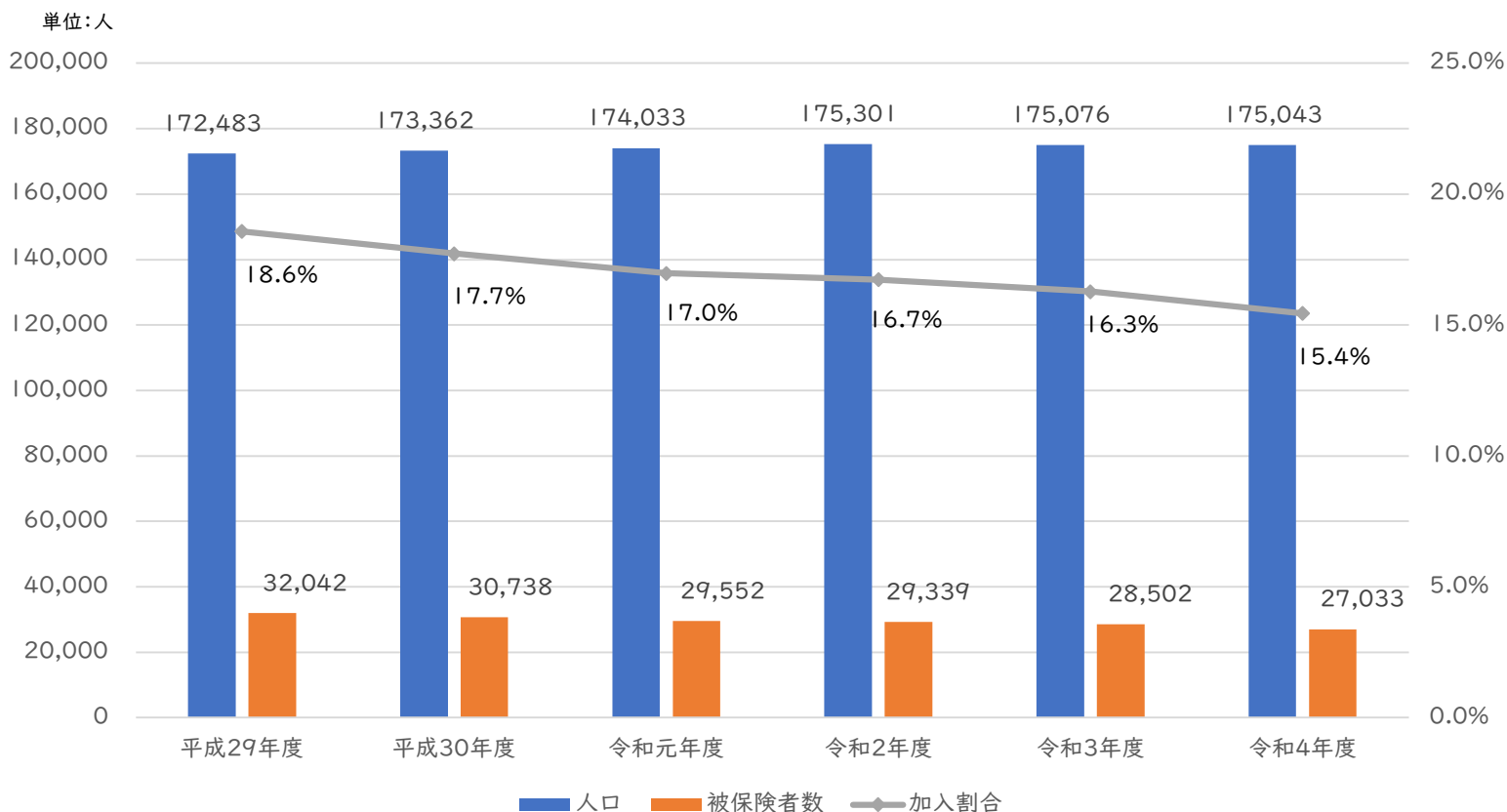
- 健康の保持増進
- 生活の質(QOL)の維持及び向上
- 医療費の適正化

○計画の期間

	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
厚生労働省		健康日本21（第3次）R6~R17 						
千葉県		医療費適正化計画（第4次） 						
データヘルス計画	策定			中間 見直し			見直し	
特定健診等 実施計画								
健康なまち 習志野計画								

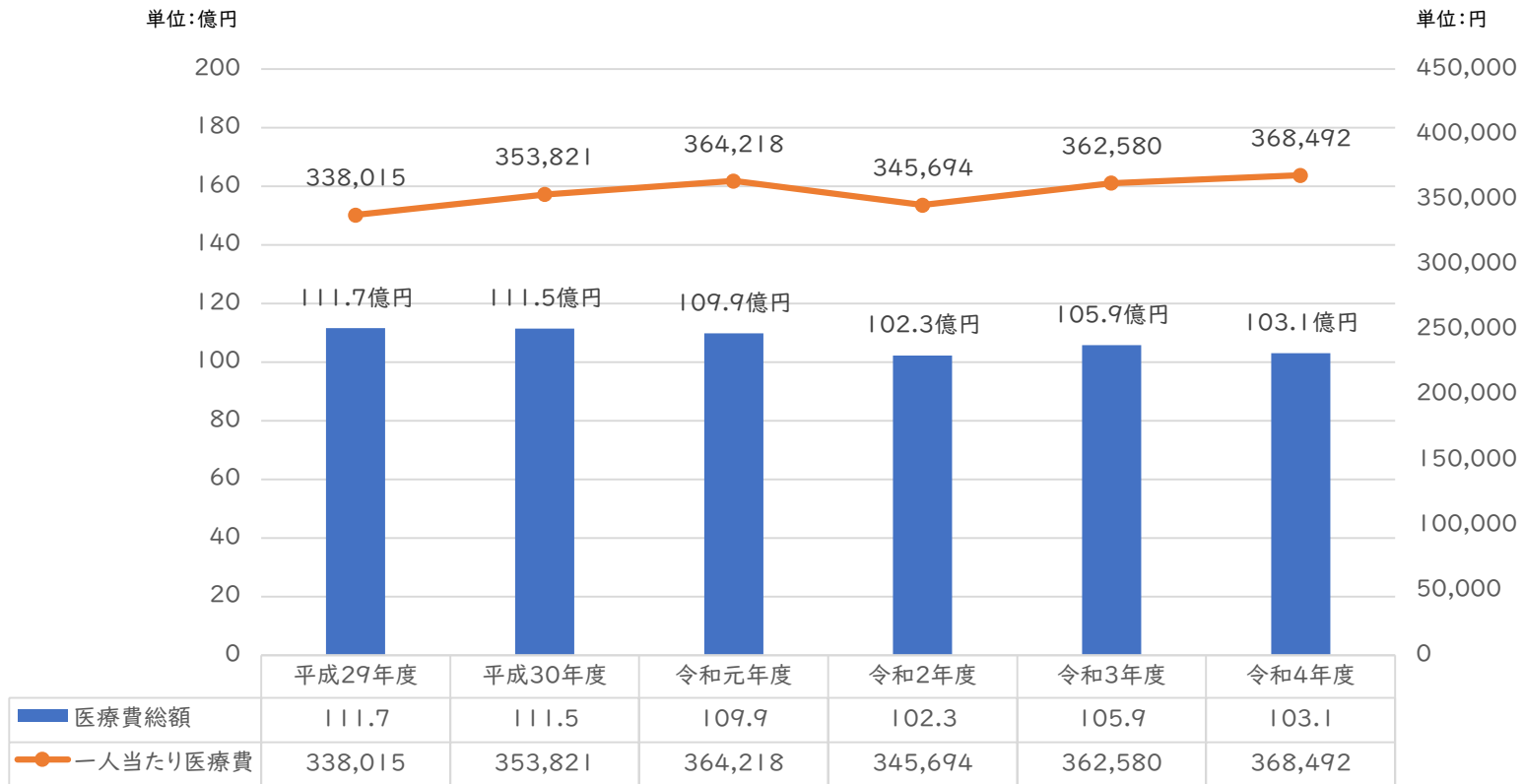
令和6年度から11年度までの6年間

○人口、被保険者の状況



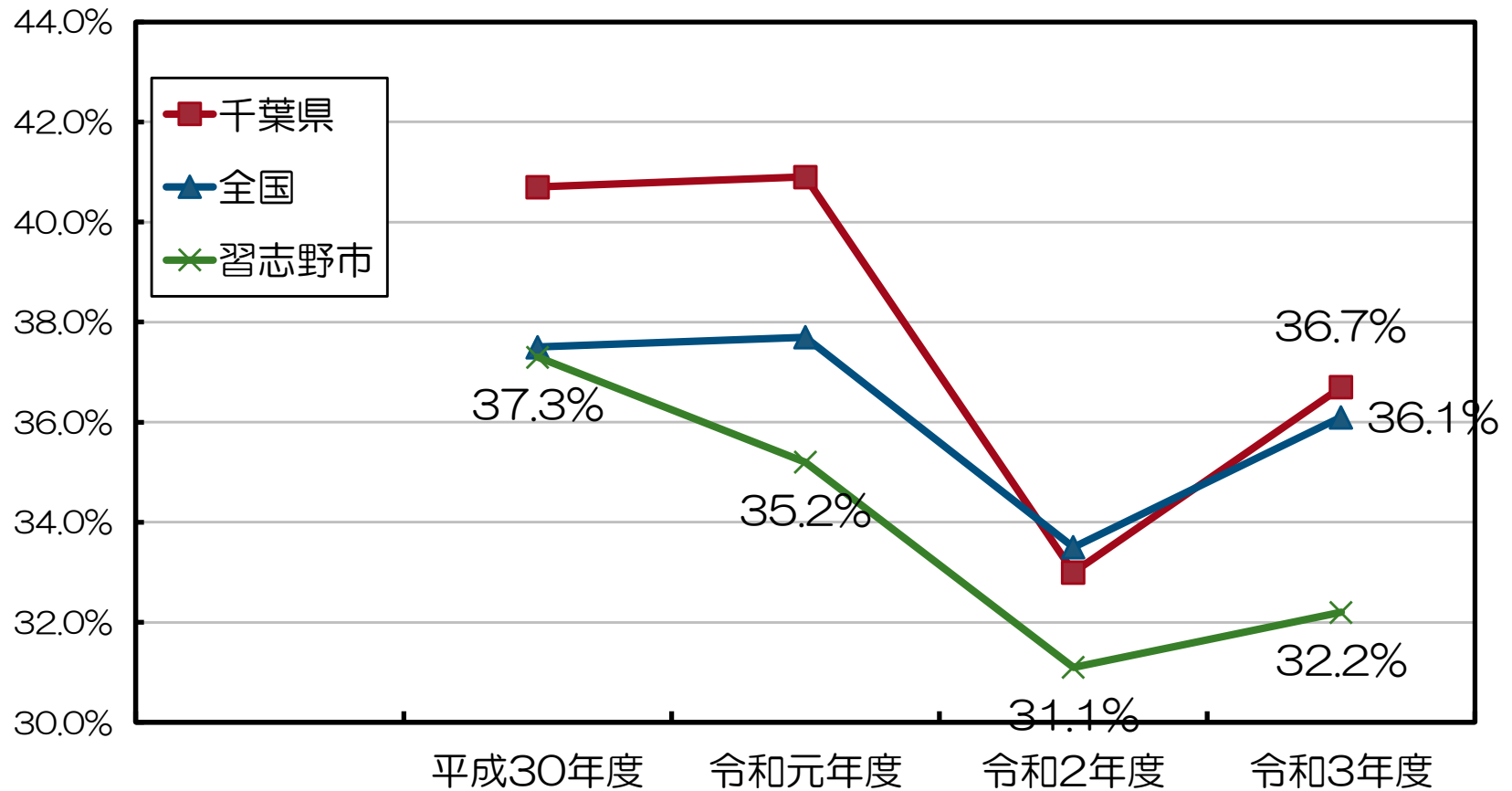
- 習志野市の人口は横ばい傾向
- 被保険者数は減少傾向、加入割合も減少

○医療費総額、一人当たり医療費の状況



- 年間の医療費総額は減少傾向
- 一人当たり年間医療費は増加傾向

○特定健康診査受診率の推移



県より低い32.2%と伸び悩む

○特定健康診査受診率

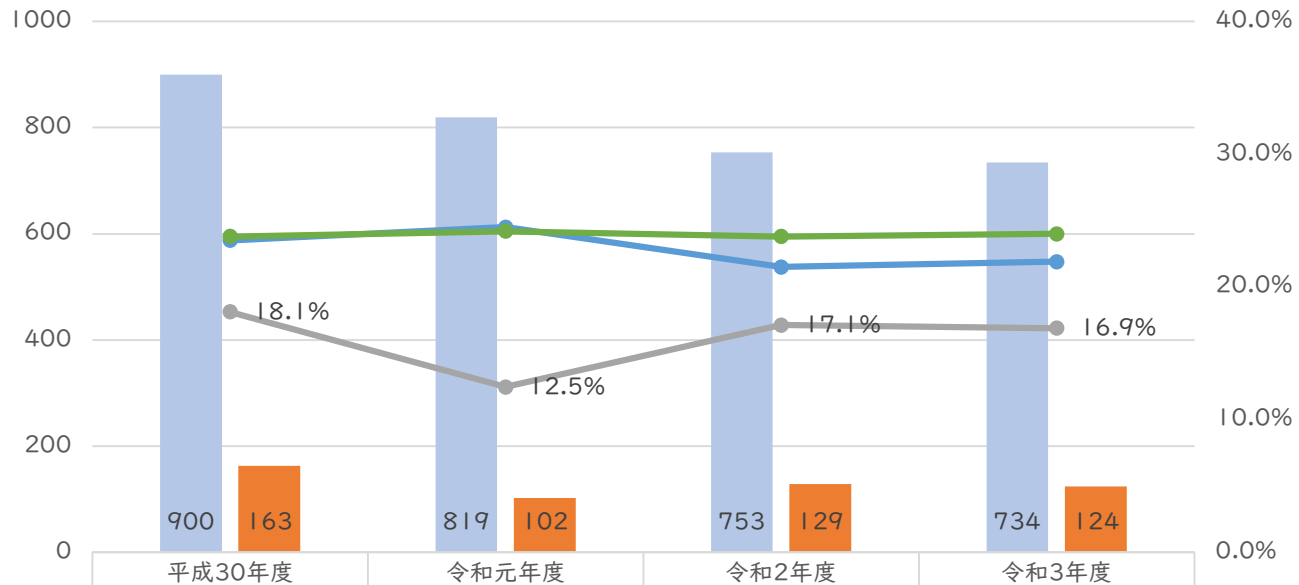
年代別・男女別受診率（令和3年度）

年齢区分	男性	女性	全体		
	受診率	受診率	対象者数	受診者数	受診率
40～44歳	13.5%	20.3%	1,118人	184人	16.5%
45～49歳	15.6%	18.6%	1,527人	259人	17.0%
50～54歳	15.5%	24.0%	1,599人	310人	19.4%
55～59歳	18.8%	25.5%	1,507人	337人	22.4%
60～64歳	26.9%	32.3%	2,011人	606人	30.1%
65～69歳	34.1%	40.4%	4,190人	1,585人	37.8%
70～74歳	36.7%	41.2%	8,015人	3,144人	39.2%
合計	28.3%	35.4%	19,967人	6,425人	32.2%

全体の受診率32.2%に対して、
40歳代、50歳代の受診率19.0%

○特定保健指導の実施状況

単位：人



対象者数(人)	900	819	753	734
実施者数(人)	163	102	129	124
実施率-習志野市(%)	18.1%	12.5%	17.1%	16.9%
実施率-千葉県(%)	23.5%	24.5%	21.5%	21.9%
実施率-全国(%)	23.8%	24.2%	23.8%	24.0%

- 特定保健指導の対象者は年々減少
- 実施率は千葉県や全国より低い状況が続く

○保健事業の実施状況と前期計画等による考察

最終指標		目標値	実績	評価
特定健康診査受診率		40.0%	32.2%※	c
特定保健指導実施率		23.0%	16.9%※	未
既に生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合（健康教育事業）		30.0%	26.7%※	b
特定健診の結果、受診勧奨域の割合（受診勧奨事業）		14.0%	16.7%	c
生活習慣病リスクがない人の割合（糖尿病予防対策事業）		15.0%	12.7%※	c
慢性腎不全による特定疾病対象者数（慢性腎不全予防事業）		100人	110人	b
その他	フッ化物洗口実施校数（医療費適正化事業）	23校	10校	a
	ジェネリック医薬品数量シェア（医療費適正化事業）	88.0%	83.3%	a

a:改善している b:変わらない c:悪化している d:評価困難
 ※令和4年度のものが未算出のため暫定的に令和3年度の数値

○前期計画を踏まえた健康課題の抽出

前期計画の評価を踏まえ、保健事業ごとに健康課題を抽出

特定健康診査事業

- 受診率が目標値（40％）に未達
- 未受診者、特に40-50歳代への受診勧奨が必要

特定保健指導事業

- 実施率が目標値（23％）に未達
- 40-64歳男性の実施率が低く、実施方法工夫が必要

生活習慣病重症化予防事業

- 受診勧奨域の対象者割合が高い
- 「血圧」「血糖」の有所見者が多い
- 慢性腎臓病（透析あり）の医療費負担が最も大きい

○前期計画を踏まえた健康課題の抽出

生活習慣病発症予防事業

- 健康教育実施数が未達
- 糖尿病は医療費負担が2番目に大きい疾病

歯科保健事業

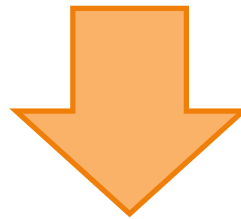
- 歯科健診受診者の66.1%が進行した歯周病、33.1%が未処置歯1本以上
- 年齢が上がるとともに歯科疾患も重症化
- 歯の喪失は全身の健康に関与するため若い世代からの取り組みが必要

その他の保健事業

- 調剤費の割合が千葉県、全国と比べて高い
- がんの死亡割合が高く、がん検診受診率も目標未達

○データヘルス計画全体の戦略

- 健康寿命は千葉県、全国平均と比べても高い
- 前期高齢者の割合が高く、一人あたり年間医療費は増加傾向
- 医療費の中で大きな割合を占めるのは生活習慣病
- 生活習慣病を重症化させないことが医療費の伸びを抑制できる



計画全体（保健事業全体）の目的

生活習慣病の発症及び重症化予防を図り、
医療費適正化を目指す

○目的達成のための6つの目標

- ① 特定健康診査受診率を高める
- ② 特定保健指導の実施率を高める
- ③ 生活習慣病の重症化を予防する
- ④ 生活習慣病の発症を予防する
- ⑤ 歯科健康診査の受診率を高める
- ⑥ ジェネリック医薬品の普及率を高める
重複・多剤投薬者へ適正受診・服薬を促す
がん検診の受診率を高める

これらの目標を達成するために
個別の保健事業を設定

○特定健康診査等実施計画の目標

国が定めた目標

特定健康診査の受診率 60% 特定保健指導の実施率 24%

千葉県国保平均

特定健康診査の受診率 36.7% 特定保健指導の実施率 21.9%

(3年度)



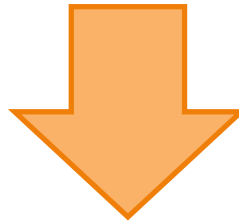
年度別特定健康診査等実施計画の目標

	3年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度 (目標)
特定健康 診査の 受診率	32.2%	35%	36%	37%	38%	39%	40%
特定保健 指導の 実施率	16.9%	18%	19%	20%	21%	22%	23%

○特定健康診査事業の目標

令和11年度までに受診率40%

この目標を達成するために6つの事業を実施

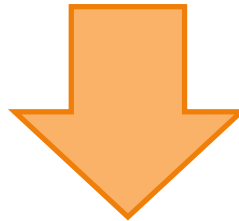


- ① 勧奨通知による未受診者への受診勧奨
- ② 集団健診の実施
- ③ 人間ドックの費用助成
- ④ 他の健診受診者から健診結果報告の受領促進
- ⑤ 効果的な情報提供（リーフレット配布等）
- ⑥ 新規加入者への受診勧奨

○特定保健指導事業の目標

令和11年度までに実施率23%

この目標を達成するために3つの事業を実施



- ① 集団健診会場での初回面接同日実施
- ② 保健指導利用者に対する取組継続と
翌年受診の勧奨
- ③ ICT活用による特定保健指導

○拡充・新規事業

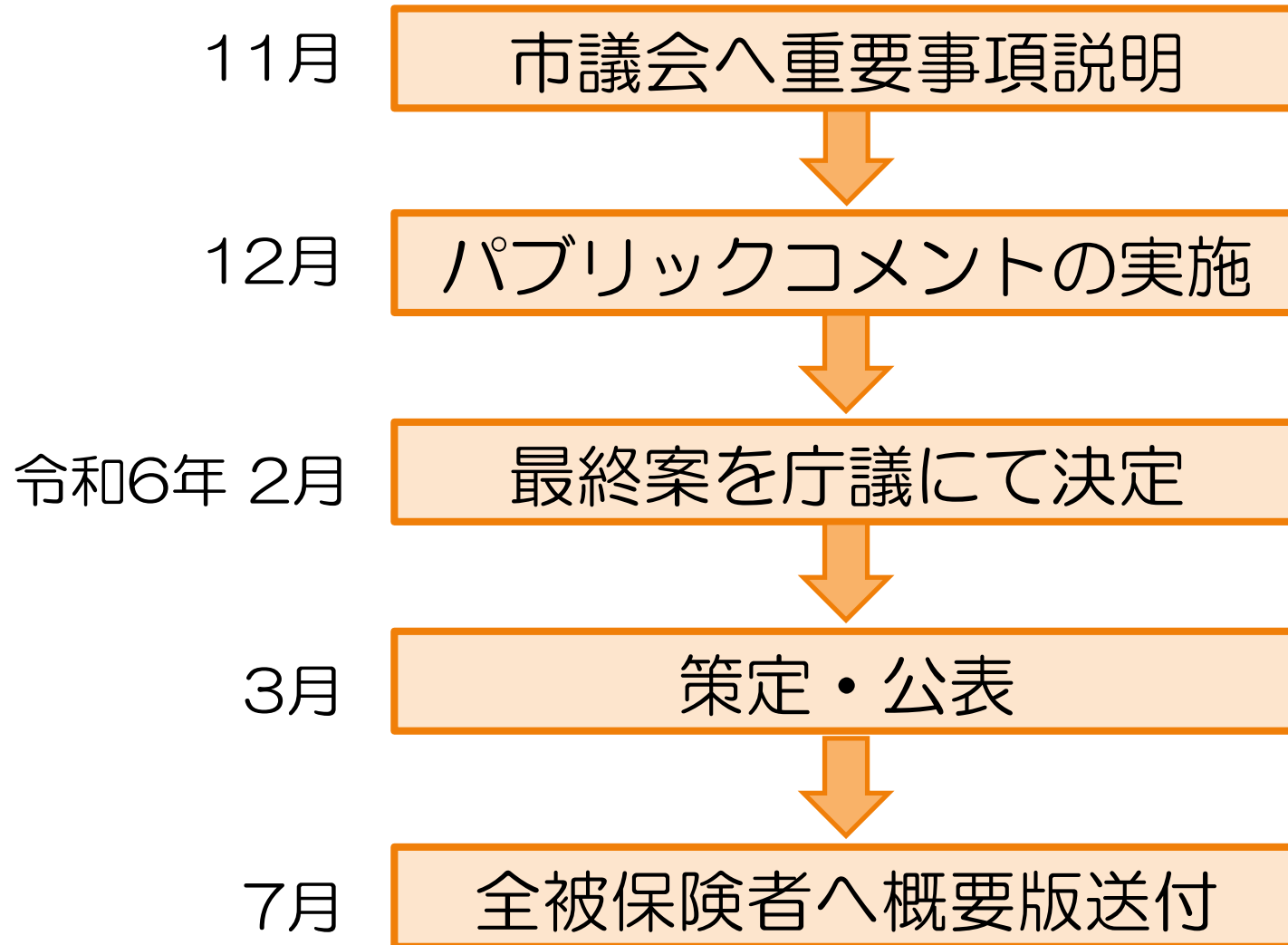
拡充

- 受診率向上に向けた健診結果の取得
（各種団体等への周知）

新規

- 40歳（新規加入者）への健診周知と受診者へのインセンティブ付与
- 受診行動を促すための地区別受診状況分析に基づく健康教育の実施
- 歯科保健事業を単独の目標、指標として新たに記載

○今後の予定

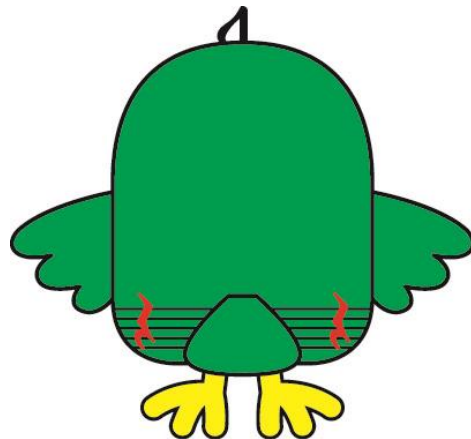


審議（1）

第3期国民健康保険 データヘルス計画

について

19



終